

平成 21 年 5 月 22 日現在

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2006～2009

課題番号：18251008

研究課題名(和文)南北朝～隋代における石刻造像銘の調査及びその地域史的宗教環境の研究

研究課題名(英文) Research on the Buddhist stone inscriptions ; the examination of religious and historical regionalism in China, from Nanbei-chao period to Sui dynasty

研究代表者

佐藤 智水 (SATO CHISUI)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：40116463

研究分野：中国仏教史

科研費の分科・細目：東洋史

キーワード：南北朝時代、隋、造像銘、仏教、道教、石窟、石刻、博物館

1. 研究計画の概要

本調査・研究は、時期的には北魏王朝成立の5世紀初頭から隋王朝末の6世紀前半までの時代、地域的には現在の河北省・河南省・山東省・山西省・陝西省・甘肅省・四川省に分布する仏教や道教の造像銘を調査し、形状も含め正確に把握し記録する。

(1) 現地調査を実施して造像銘を探索する。対象物の調査については次のような基本作業を行なう。

出土地・所蔵機関の確認 環境や形状の観察と計測 写真撮影(或はスケッチ) 拓本収集 銘文の移録

(2) 調査した史料を整理して「造像銘目録」及び「銘文録」を作成する。

(3) 採取した史料をもとに歴史学・仏教学・道教学・美術史・書道史など多角的視点から分析し、それらを生み出した各地方独自の地域史的宗教環境を考察する。

2. 研究の進捗状況

(1) 現地調査については、河北省全域、河南省中北部、山西省全域、陝西省中南部、甘肅省東部に関して、ほぼ充実した調査を実施することができた。四川省については大地震のことがあり見送っている。代わりに昨年、安徽省について実施できた。山東省が未実施であるが、今年度行なう予定である。

(2) 欧米(アメリカ合衆国・カナダ・イギリス・フランス・スイス等)の博物館・美術館に所蔵されている中国南北朝期の仏像・道

教像及びそれらの造像銘調査を実施した。

(3) 調査した史料について、地域別・年代別に分類して、調査記録の整理、写真の焼き付け、移録等の作業を進めてきた。

(4) 「造像銘目録」の基本台帳はほぼ揃っており、具体的作業も進んでいる。「銘文録」については、定例の研究会で読み進めながら定稿を作成してきている。

(5) 採取した史料をもとに分析・考察する作業は、代表者のもとで分担者、連携者、協力者ごとに役割分担を確認して、作業を進めている。

(6) 研究面では、研究代表者の「河北省涿県の北魏造像と邑義」や「中国における初期の邑義について(上)(中)」(掲載紙は下記に明示)などの報告によって課題の捉え方について方向性を示した。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

現地調査については、研究分担者と共に、研究協力者・連携研究者の協力をえてほぼ順調に調査を進めてきた。また、山東省と四川省については未実施であるが、文物考古関係文献や調査報告書などによって、課題史料収集については概ね済んでおり、目録作成も順調である。ただ、「銘文録」については文字の確定作業が極めて微妙で、この分野は遅れ気味である。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は残された地域についての現地調査も行なうが、遅れ気味の「銘文録」については、文字の確定など集中的に作業を進め、清書等は謝金を投入して整理を進める。

また研究面においては、これまでの調査で特に山西省に残された遺跡・文物について、課題に関わる極めて興味深い材料を見出した。本課題のテーマに格好の素材分析に集中して取り組むことを考えている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計15件)

石松日奈子「中国古代石彫論 石獣と石人と石仏」、『國華』(査読有) 1352号、2008年6月、pp.5-19

長谷川岳史「隋代仏教における三身解釈の諸相」、『龍谷大学論集』(査読有) 第471号、2008年1月、pp.62-81

佐藤智水「中国における初期の『邑義』について(中)」銘文編一、『仏教文化研究所紀要』(査読無) 第46号、2007年12月、pp.181-237

佐藤智水「河北省涿県の北魏造像と邑義(前編)」、『佛教史研究』(査読有) 43号、2007年10月、pp.1-47

佐藤智水「中国における初期の『邑義』について(上)」、『仏教文化研究所紀要』(査読無) 第45号、2006年11月、pp.77-113

〔学会発表〕(計4件)

市川良文「インド仏教碑銘の再検討 - 縁起法頌の理解をめぐるの一試論 - 」、2009年2月26日、『第5回ガンダーラ仏教美術研究会』(於 龍谷大学)

佐藤智水「中国における造像供養の背景について - 北朝造像銘をてがかりに - 」、2008年12月7日、『第4回ガンダーラ仏教美術研究会』(於 龍谷大学)

市川良文「シルクロード(ニヤ)の木簡」、『簡牘の世界 - 越後・列島・半島・大陸を結ぶ - 』(於 新潟大学)

石松日奈子「魏文朗造像碑的制作年代 - 始光元年銘の再次検討と新出有関作品的真偽 - 」、2007年5月11日、『中国首届道教美術史国際研討会』(於 中国・西安市、西安美術学院)

〔図書〕(計4件)

市川良文「カロ - シュティ - 文字資料について」pp.187 - 190、佛教大学アジア宗教文化情報研究所・佛教大学ニヤ遺跡学術研究機構発行、『日中共同尼雅遺跡学術調査報告書』第三巻、2007年10月

石松日奈子「耀県葉王山博物館魏文朗造像碑的制造年代 北魏始光元年題記的重新検討以及新出相關作品的真偽問題」pp.79-88、山東美術出版社(中国)、『道教美術新第一屆道教美術史国際研討会論文集』、2008年11月

宮崎洋一「願真卿の子孫について」pp.409-425、汲古書院・追悼記念論叢編集委員会(代表奥崎裕司)、『山根幸夫教授追悼記念論叢 - 明代中国の歴史的位相』下、2007年6月

宮崎洋一「王羲之の故宅や祠廟について - 顔魯公祠との比較を兼ねて - 」pp.37-44、菅のり子編集・発行、『第5回書法文化書法教育国際会議論文選』、2007年3月

〔その他〕

書評(計1件)

・佐川英治「書評：侯旭東著『北朝村民的生活世界 朝廷、州県と村里』商務印書館」、『中国 - 社会と文化 - 』22巻、2007年、290 - 299